

2009年 むらやまわ せ ごとぼう せいちょうきろく 村山早生牛蒡の成長記録

須坂市伝統野菜探検隊

<http://www.suzakamap.com/>

2009,05,19,

「村山早生ゴボウの種まき」



須坂郷土野菜探検隊の小林です。
須坂市の伝統野菜の中でも近年人気の高い「村山早生<丸>ゴボウ」の種まきが行われました。

前日、村山早生ゴボウの種まきが行われるという情報をキャッチ。
早朝6時に眠い目をこすり、須坂市と長野市の間を流れる千曲川の河川敷へ行ってみました。
そこには縦100m横10mほどの専用の畑があり、すでに畝<ウネ>が作られていました。



ゴボウを植えるということで、砂地な畑です。

郷土食ブランド作りグループの中村さんをはじめ、数人の方々によって種まきがされます。
ゴボウってあんなにも長いのに、その種は小さく可愛いものですね。

畝に種をまき、上からそって土をかけ、さらに軽く踏み固めます。
参加された皆さんは慣れた様子で、次々と作業をこなしていました。

これから8月の収穫まで、この場所で須坂産村山早生ゴボウが作られるのです。

2009,06,01,

「村山早生ゴボウの芽」



須坂郷土野菜探検隊の小林です。
先日種まきをした須坂市伝統野菜の一つ村山早生ゴボウの畑に行きました。

種まきをしてから半月ほど経ちますが、どんな感じでしょう。

現地に行ってびっくりしました！
小さなゴボウの芽が沢山でているんです！
自然ってすごいですね。

小さいけれど、地面にしっかりと根を張り生きています。
感激しました。

2009,06,09,

「ふた芽が出た」



須坂郷土野菜探検隊の小林です。
今日は、中村さんが育てている須坂市伝統野菜の一つ村山早生牛蒡<ムヤマワセゴボウ>の畑に行ってきました。



前回行ってから一週間ほど。
今日はなんと「ふた芽」が出ていました。
ふた芽とは二段目の葉のことで、写真で見ると真ん中の大きい葉のこと。

牛蒡たちの成長を日々感じます。
畑も芽の緑が目立つようになってきました。

2009,06,16,

雨の後の牛蒡畑



須坂郷土野菜探検隊の小林です。
須坂市の村山地域で栽培されている伝統野菜「村山早生牛蒡<ムヤマワセゴホウ>」。

昨夜から降り続いた雨が上がり、牛蒡畑に行ってみました。
5列に植えた牛蒡の種も、ここにきて芽の成長にムラがみられるようになってきました。
写真の奥のほうは成長が良いようです。



まだ生えたての芽もあれば、もうすでに大きな葉をつけているものもあります。
雨の影響か、葉に多くの土が付いていました。

2009,06,24,

地盤沈下



須坂市郷土野菜探検隊の小林です。

事件です！

梅雨の大雨の合間をぬって、中村さんが育てている村山早生牛蒡<ムヤマワセゴボウ>の畑に行ったら、畑が陥没しているじゃないですか！

5列ある畝<ウネ>のうち3列に陥没が見られます。

中村さんの話によると、種まきの前の土固めがうまくできていなかったようなのです。そこに大雨が降ったので陥没が起きてしまいました。

種をまいた後の踏み固めを、もっともっと力一杯に行わなければいけなかったとのこと。こうなってしまったら、一度芽を抜いて、もう一度種を蒔き直さなければならないのです。

難しいものですね。



陥没の見られない2列については、芽も元気に育っているので現状のまま育てます。

今まで、ずっと成長を見ていたので、とっても悲しい気持ちになりました。

2009,06,26,

畑陥没の手直し



須坂市**伝統野菜**検隊の小林です。
先日陥没してしまった村山早生ゴボウの畑。

この日、早朝にも関わらず今まで村山早生牛蒡を育ててきた中村さんをはじめとする方々が、陥没した畑を目の前に、これからどうするかを相談をしていました。

相談の結果、

「陥没するということは、下に空洞があるということ。このままにしておいてもゴボウは枯れてしまう。ならば、今のうちに掘り返して種を蒔きなおそう」

ということになり、陥没してしまった部分だけを



更地に戻すことにしたのです。

言葉は少なく、ただただ残念で、皆さんもくもくと作業をしていました。
種を蒔いてからおよそ一ヶ月とはいえ、可愛がってきたゴボウたちをダメにしてしまうことは本当に胸が締め付けられる思いです。

もう二度とこのようなことが起こらないように反省し、畑作りを見直さなければなりません。ゴボウの栽培には畝<うね>を作ったの栽培はむかないということもお聞きしました。勉強になります。

土を踏み固め、もう一度種を蒔くのは7月の初め頃となります。

陥没しなかったゴボウについては、芽と芽の間の草取りを行いました。
大切な芽がある部分なので、手間がかかりますが1本1本丁寧に刈り取っていきます。

2009,07,02,

気持ち新たに種まき。



須坂市**伝統野菜**探検隊の小林です。

先日、陥没を修復した村山早生牛蒡の畑。
本日畑に足を運んでみると、綺麗に踏み固められた跡を確認することができました。



詳細を中村さんにお聞きしたところ、修復した数日後に、もう一度種を蒔いたそうです。

今回は陥没予防のために、しっかりと踏み固めたとのこと。
もうあんな残念な気持ちはこりごりですからね。

陥没から逃れた苗たちは順調に育っています。

こないだ苗の間の草取りをしたおかげか、この数日で一気に大きくなった気がします。

2009,07,06,

村山牛蒡の花



須坂市**伝統野菜**探検隊の小林です。

先日、村山早生牛蒡<ムヤマゴボウ>の種まきを行いました。
その時に蒔いた種というのは、おとしに成長した牛蒡が昨年花を咲かせ、種をつけたものです。
牛蒡は種を取るのに2年かかる植物なのです。

昨日、**村山早生牛蒡**を育てている中村さんより、「昨年育てた牛蒡に花が咲いた」と連絡を頂きましたので、早速行ってみました。



トゲトゲのふくらみの先に紫色の花が咲いています。これが**村山早生牛蒡**の花なのです。

牛蒡の花なんて初めて見ました。まだ知らない方も多いでしょう。
周りのトゲトゲは指で触っても痛くはありませんが、衣服などにはくっつくようにできています。中には種となる綿が詰まっていた。

よくなるのです。
2年越しでやっとできた種なのです。

今年の秋にこの花から種が採れ、その種が来年蒔かれる

2009,07,13,

アブラムシの来襲



須坂伝統野菜探検隊の小林です。

先日新たに蒔き直した村山早生牛蒡<ムヤマゴホウ>の畑に行ってみると、沢山の芽が出ていました。一列に並んだ芽からは生命力を感じます。

写真上部に見える 5 月に蒔いた村山早生牛蒡と比べると、大きさには差がありますが、今のところ順調に育っています。



ここにきて新たな問題が勃発しました。

なんと、グングン育っている 5 月に蒔いた村山早生牛蒡の葉に「アブラムシ」が沢山たかってしまいました。ほぼ全ての葉にたかっています。

近くの農家さんにお聞きしたところ、それほど害は無いそうで安心しましたが、それにしても異常な量です。

ちょっと気持ちが悪いです。

2009,07,16,

村山早生牛蒡のふた芽



須坂市伝統野菜探検隊の小林です。

長野県須坂市村山地区にある、村山早生牛蒡の畑に行ってきました。牛蒡の芽から、ふた芽が出ていました。

7 月 1 日に二度目の種蒔きをしてから半月ほどで「ふた芽」が出るとは、順調な成長をしてくれています。

この調子で大きく育ってくれることを祈ります。

5 月に種蒔きをした牛蒡は、膝上あたりまで成長しています。

収穫予定までおよそあと 1 ヶ月。

どこまで大きくなってくれるのでしょうか。

2009,07,30,

村山早生牛蒡の茎



須坂市伝統野菜探検隊の小林です。

5月19日に種蒔きをした村山早生牛蒡も、グングンと大きくなり、今では太い茎が何本も出るまでとなりました。



茎の高さも膝上くらいにまでなり、茎から伸びる葉もとても大きくなりましたよ。

梅雨の長雨にも負けない成長をみせてくれています。

2009,08,06,

青々とした葉





須坂市伝統野菜探検隊の小林です。

須坂市村山にある中村さんが育てている村山早生牛蒡<ムヤマロコボウ>の畑に行きました。

雨天が多く、日照不足などに不安があるものの、順調に成長しています。

葉も青々といい色をしていますね。

先日種蒔きして出てきた芽も、まわりの草と見分けがつく位に大きくなりました。

ここまでくれば根もしっかりとしてくるのでひと安心です。

横の畑にも村山早生牛蒡が植えてあり、こちらでは近所の方がせっせと草刈りをしていました。村山早生牛蒡の認知度が高くなり、沢山の農家さんで広く栽培されることを夢に見て、まずは頑張ろうと話しました。

2009,08,14,

大きな葉



須坂市伝統野菜探検隊の小林です。

連日の雨による被害がないか心配で、村山早生牛蒡<ムヤマロコボウ>の畑に行ってきました。

千曲川<チマガリ>が近いので、水に浸っていないか不安でしたが、心配する必要が全然なかったようです。

どの牛蒡たちもピンピンしています。



葉も大きくなりました。

僕の手大きさをゆうゆう超えるほど大きくなっています。

この大きな葉で太陽からの恵みをしっかりと吸収してくださいね。

2009,08,28,

虫食い



須坂市伝統野菜探検隊の小林です。

村山早生牛蒡<ムヤマゴボウ>の畑に行きました。
最近、牛蒡の葉っぱに虫に食べられた跡が目立ちます。

虫が食べるということは安全安心な食べ物の証拠なのですが、たとえ牛蒡は葉を食べないとはいえあまり気持ちのいいものではありません。



ちょっと葉をよけると、いました。
丸々と大きく育った蝶の幼虫です。

これも安全な食べ物の証拠ということで、そっとしておきました。

2009,09,08,

収穫日近づく



須坂市伝統野菜探検隊の小林です。

本日中村さんが育てている村山早生牛蒡<ムヤマワヒコボウ>の畑に行くと、幾分牛蒡たちが元気が無いような感じがしました。

葉が上を向いていませんし、所々黄色く枯れた感じがします。

今年は日照時間が短かった割りに、日差しが強く、植物たちには辛い夏だったのです。ここにきて、牛蒡たちにも疲れが出てきたのでしょうか・・・。

2009,09,12,

初収穫



須坂市伝統野菜探検隊の小林です。

本日は、村山早生牛蒡<ムヤマワヒコボウ>の収穫日です。
ですが天気はあいにくの雨。

予定していた子供たちとの収穫は別の日に延期ということで、
まずは試しに一列掘ってみました。



スコップで一本一本掘っていくのかと思ったら、
小型のシャベルカーで、畝<ウネ>の間を掘りおこし簡単に
手で抜けるようにします。

早生牛蒡ということで、ただでさえ柔らかいのです。
傷をつけないように丁寧に、ていねいに収穫作業を進めました。

我らが探検隊も作業の様子を観察します。

この村山早生牛蒡を育てている中村さんに、
早生牛蒡の取り扱いについて指導を受けました。

牛蒡に土が付いているからといって、こすって掃ってはいけません。
たったそれだけでも、牛蒡に傷が付く色が黒ずんでしまい商品としての価値が下がってしまうのだそうです。

何事もはじめての私たちですから、次回、子供たちと収穫を行う時にしっかりと説明ができるように真剣に聞きました。